

V 廃棄物関係資料

1) 一般廃棄物関係

資料V-1 清掃工場搬入量の推移

(単位：トン)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
清掃工場搬入量	291,959	294,555	293,175	276,868	263,891
家庭系ごみ	168,741	168,501	169,308	169,937	170,003
生活ごみ	158,667	158,371	158,439	157,854	156,926
継続ごみ ^{注) 1}	—	—	—	1,501	1,497
粗大ごみ	3,098	3,000	2,958	2,739	2,885
直接搬入ごみ	5,867	6,390	6,740	6,881	7,458
選別後残渣 ^{注) 2}	1,109	740	1,171	962	1,237
事業系ごみ	123,218	126,054	123,867	105,409	92,351
許可業者搬入ごみ	75,826	80,085	81,462	74,274	67,507
継続ごみ ^{注) 1}	21,869	20,295	16,538	14,033	12,635
環境美化ごみ ^{注) 3}	1,608	1,401	1,474	—	—
直接搬入ごみ	23,915	24,273	24,393	17,102	12,209
環境系ごみ	—	—	—	1,522	1,536
環境美化ごみ ^{注) 3}	—	—	—	1,522	1,536

- 注) 1. 平成 26 年度から、申込個数により家庭系と事業系に案分している。
 2. 資源物の選別の際に発生した残渣を計上したものである（平成 26 年度のみ、焼却灰溶融試験分を含む）。
 3. 平成 26 年度から、「環境系ごみ」として計上している。

資料V-2 最終処分場（フェニックス）搬入量の推移

(単位：トン)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
最終処分場搬入量	50,111	47,465	33,455	28,370	24,735
ごみ関係	50,099	47,455	33,444	28,359	24,728
焼却灰	50,065	47,429	33,426	28,340	24,710
直接埋立	34	26	18	19	18
し尿関係	12	10	11	11	7
し尿処理汚泥	12	10	11	11	7

資料V-3 リサイクル量の推移

(単位：トン)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
リサイクル量	48,979	50,316	60,675	62,600	60,773
缶・びん	6,420	6,205	6,087	5,916	5,807
ペットボトル ^{注) 1}	1,379	1,403	1,424	1,394	1,525
プラスチック製容器包装	4,810	4,933	4,580	4,587	4,500
小型金属	283	274	266	269	305
古紙類 ^{注) 2}	96	101	112	120	105
使用済小型家電 ^{注) 3}	—	—	—	—	13
集団回収	31,898	30,388	29,195	27,915	26,219
庁内古紙	179	171	221	319	327
自主資源化 ^{注) 4}	—	—	—	2,542	2,678
剪定枝等	3,501	4,571	3,469	4,136	4,512
外部処理分（古紙類） ^{注) 5}	—	—	—	72	119
破碎施設からの鉄類回収	413	551	330	213	277
溶融スラグ ^{注) 6}	—	820	12,568	12,683	12,145
溶融メタル ^{注) 6}	—	899	2,423	2,434	2,241

- 注) 1. 拠点回収量（平成 23 年 10 月制度終了）を含む。
 2. 美原区のみで実施している。
 3. 平成 27 年 8 月 1 日から拠点回収等を実施している。
 4. 平成 26 年度から、民間の排出事業者（堺市内）が直接民間再資源化事業者と契約してリサイクルしている量を計上している。
 5. 平成 26 年度から、クリーンセンター各工場でリサイクルした古紙類の量を計上している。
 6. クリーンセンター臨海工場で溶融処理した際に生成される溶融固化物である。

資料V-4 し尿・浄化槽汚泥施設別処理量の推移

(単位：キロリットル)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
総処理量	61,867	55,459	52,174	49,148	47,307
し尿	35,709	32,295	29,729	27,925	27,168
クリーンセンター浄化ステーション (泉北下水処理場)	32,957	30,236	27,391	25,852	25,063
三宝下水処理場	2,752	2,059	2,339	2,073	2,106
浄化槽汚泥	25,769	22,891	22,151	20,922	19,787
クリーンセンター浄化ステーション (泉北下水処理場)	18,114	15,498	15,057	13,770	12,914
三宝下水処理場	7,655	7,393	7,094	7,151	6,872
地域下水道汚泥 (クリーンセンター浄化ステーション)	295	189	185	185	187
し尿を含むビルピット汚泥 (クリーンセンター浄化ステーション)	58	55	76	78	141
ディスプレイ汚泥 (クリーンセンター浄化ステーション)	37	30	33	40	24

注) クリーンセンター浄化ステーションでは、重量を計量しており、上記の値は容量に換算した値である。

資料V-5 ごみ処理施設の概要

① 焼却施設

名 称	クリーンセンター東工場		クリーンセンター 南工場	クリーンセンター 臨海工場
	第一工場	第二工場		
所在地	東区石原町 1 丁 102 番地		南区御池台 5 丁 1 番 1 号	堺区築港八幡町 1 番地 70
竣工年月日	昭和 52 年 3 月 31 日	平成 9 年 3 月 31 日	昭和 48 年 3 月 31 日	平成 25 年 3 月 31 日
方 式	焼却			熔融
処理能力	300t/日 (150t/日×2 炉)	460t/日 (230t/日×2 炉)	450t/日 (150t/日×3 炉)	450t/日 (225t/日×2 炉)
事業方式	—	—	—	PFI (BTO 方式)
受託業者	—	—	—	(株) 堺クリーンシステム
発電形式 発電出力	—	蒸気タービン発電 12,600kW ガスタービン発電 4,100kW 最大出力合計 16,700kW	—	蒸気タービン発電 13,500kW ガスエンジン発電 815kW×3 基 最大出力合計 15,945kW

注) クリーンセンター南工場については、平成26年3月末をもって休止している。

② 破碎処理施設

名 称	クリーンセンター東工場		クリーンセンター 臨海工場
	第一破碎施設	第二破碎施設	
所在地	東区石原町 1 丁 102 番地		堺区築港八幡町 1 番地 70
竣工年月日	昭和 54 年 3 月 31 日	平成 9 年 3 月 31 日	平成 25 年 3 月 31 日
方 式	破碎		
処理能力	100t/日 (5 時間)	50t/日 (5 時間)	16t/日 (5 時間)
事業方式	—		PFI (BTO 方式)
受託業者	—		(株) 堺クリーンシステム

③ 最終処分場

名称	南部処理場		
区分	埋立処分地		
	旧処分地	第1期	第2期
所在地	南区畑 1344 番地		
埋立期間	昭和 53 年 11 月～ 昭和 63 年 10 月	昭和 63 年 11 月～ 平成 4 年 9 月	平成 4 年 10 月～ 平成 21 年 3 月
埋立容量	403,000 m ³	194,600 m ³	466,100 m ³
形式	管理型		
区分	浸出水処理施設		
敷地面積	6,461 m ²		
処理能力	500 m ³ /日		
処理方式	長時間曝気活性汚泥法		

注) 平成 20 年 9 月の搬入停止後は、大阪湾広域臨海環境整備センターに全量搬入している。

④ 資源化施設

名称	リサイクルプラザ
所在地	中区深井畑山町 30 番地 1
竣工年月日	平成 7 年 7 月 31 日
処理方式	機械選別方式及び手選別方式
処理能力	30 t /日 (5 時間)

名称	貯留施設
所在地	東区石原町 1 丁 102 番地 (クリーンセンター東工場内)
竣工年月日	平成 21 年 9 月 24 日
貯留容積	2,204 m ³

資料V-6 し尿処理施設の概要

① 前処理施設

名称	クリーンセンター浄化ステーション
所在地	西区草部 1120 番地 1
竣工年月日	平成 16 年 9 月 10 日
処理方式	前処理+下水圧送
処理能力	し尿 180kL/日 浄化槽汚泥 100kL/日

② コミュニティプラント (地域下水道処理施設)

名称	畑地区地域下水道処理施設
所在地	南区畑地内
竣工年月日	平成3年3月31日
計画処理人口	600人
処理能力	308m ³
処理方式	長時間曝気方式

③ その他の処理施設

名称	三宝下水処理場（し尿処理に係る部分）
所在地	堺区松屋大和川通4丁147-1
建設年月日	平成22年3月30日
建築面積	334.99㎡
延床面積	757.40㎡
処理能力	100kℓ/日
処理方式	下水道直接投入方式

2) 産業廃棄物の排出及び処分関係

資料V-7 平成26年度における産業廃棄物の種類別・業種別排出量

(単位：t/年)

(平成26年度)

種類	合計	農	畜	建	製	業																				水	電	運	卸	学	医	サ	そ		
						食	飲	織	木	家	パ	印	化	石	プ	工	皮	業	鉄	非	金	は	生	業	電									電	情
合計	2,470,941	183	454,664	550,488	47,027	4	293	10,016	431	4,892	4,867	46,707	29,866	1,394	508	75,256	197,307	11,405	47,029	18,778	9,413	75	14,962	3,444	22,780	1,326	1,445,203	2,338	6,755	4,163	1,499	2,323			
燃え殻	387			387				329				29												10											
汚泥	1,700,418	180	103,135	156,756	37,345			15	144	22	26,659	26,167	5	14	15,873	11,332	1,130	27,353	2,004	100	15	6,861	629	853	234	1,438,565	12	85	1	16	73	1,595			
廃油	32,063		2,905	20,841	5,912		6	6		22	294	3,061	352	88	19	9	667	2,287	1,493	1,404	2,040	1,265	51	109	152	13	1,577	13			499	269	955	31	
廃酸	12,154		3	461	11,585		7				28	1,983	1				17	641	616	2,974	27		5,171		118						100	5			
廃アルカリ	9,931			23	9,820		1				237	2,469	2,545				206	297	176	1,204	133		2,417		134						21	31	3	33	
廃プラスチック類	31,354		5,295	17,707	296	2	58	13		72	20	5,900	149	1,070	457	42	2,337	586	1,389	1,372	1,153	736	3	299	351	972	432	44	1,611	1,074	2,304	2,912	197	210	
紙くず	9,814		1,003	8,783					4,624	4,159																								28	
木くず	44,218		23,264	19,557	10	2		6,837	16	12	5,807	7	90	18		2,254	186	54	618	1,272	383	2	7	563	1,240	182	4	78		1,166		29	120		
繊維くず	996		769	227			227																												
動物性残さ	3,265			3,265	3,265																														
ゴムくず	74		43	31																					24										
金属くず	186,097		4,799	177,792	179		2	109	431	14	78	655	432	141		456	120,444	4,211	11,332	10,014	6,785	3	98	1,631	2,628	17,705	447	56	53	503	2,549	43	52	250	
ガラスくず等	65,783		8,890	55,927	6						121	17				51,999	1,706	240	581	1,087	141	1		9	2	18	13	667	13	177	20			76	
錠剤	52,879		654	52,225							16						49,984	1,726	101	396			2												
がれき類	301,658		300,016	1,027				2								672	53		21	278							1	616							
コンクリート片	152,938		152,264	552				2								550												122							
廃アスファルト	93,014		92,521																									493							
その他のがれき類	55,706		55,230	475															122	53		21	278					1							
動物のふん尿																																			
ばいじん	11,967			11,967				1,493				111				720	9,562	82									1	159	44	157	1	128	13		
その他	679		7	169							5	28				3	66	1		48	3		13	2		1	159	44	157	1	128	13			
混合廃棄物	5,857		3,381	2,229	6			1,212			17	2	57			52	163	95	62	326			84	153		5	80	99		31	32				
感染性廃棄物	1,326			193																													1	1,132	

資料V-8 産業廃棄物の処分状況

(単位：千トン)

(平成26年度)

種 類	排出量	再生利用量	減量化量	最終処分量
燃 え が ら	0.3	-	-	0.3
汚 泥	1693.2	385.7	1292.8	14.6
廃 油	30.7	15.0	15.3	0.3
廃 酸	11.8	3.3	7.8	0.7
廃 アルカリ	9.9	1.9	7.7	0.3
廃 プラスチック類	31.2	16.4	7.5	7.2
紙 く ず	7.5	7.3	0.2	0.0
木 く ず	42.1	37.7	1.8	2.6
織 維 く ず	1.0	0.4	0.0	0.5
動 植 物 性 残 渣	2.4	1.4	1.0	0.0
ゴ ム く ず	0.1	0.1	0.0	0.0
金 属 く ず	114.7	111.0	0.3	3.4
ガ ラ ス 等	65.5	28.9	0.0	36.6
鋳 さ い	47.9	42.3	0.1	5.5
が れ き 類	294.9	277.0	0.7	17.2
ば い じ ん	11.9	9.5	-	2.4
廃 ア ス ベ ス ト 等	0.0	-	-	0.0
感 染 性 産 業 廃 棄 物	1.3	0.3	1.0	0.1
そ の 他 (混 合 物)	5.9	1.3	0.8	3.7
そ の 他 産 業 廃 棄 物	0.5	0.2	0.0	0.2
合 計	2372.8	939.7	1337.0	95.6

注) 各項目は、四捨五入しているため合計が合わない場合がある。

資料V-9 産業廃棄物処理施設の許可状況

(平成26年度)

処 理 施 設 名		施設数	総処理能力
汚 泥	脱水施設	3	231.00m ³ /日
	乾燥施設(機械)	2	222.0m ³ /日
	乾燥施設(天日)	-	-
	焼却施設	4	367.4m ³ /日
廃 油	油水分離施設	-	-
	焼却施設	3	283.7m ³ /日
廃酸又は廃アルカリの中和施設		-	-
廃プラスチック類	破碎施設	8	245.91t/日
	焼却施設	2	196.9t/日
木くず又はがれき類の破碎施設		18	6,276.3t/日
コンクリート固化施設		-	-
水銀を含む汚泥のばい焼施設		-	-
シアン化合物の分解施設		-	-
ポリ塩化ビフェニル等廃棄物の焼却施設		-	-
ポリ塩化ビフェニル等廃棄物の分解施設		-	-
ポリ塩化ビフェニル等廃棄物の洗浄施設又は分離施設		-	-
その他の産業廃棄物焼却施設		6	814.6t/日
遮断型 最終処分場		-	-
安定型 最終処分場		-	-
管理型 最終処分場		1 (1)	25,670,000 m ³ (25,670,000 m ³)
計		47	
		(1)	

注) () 内は、埋立が終了したが廃止されていないもので内数である。

資料V-10 産業廃棄物処理事業者数

(単位：事業者)

(平成28年3月31日)

区 分	収集運搬	中間 処理	埋立 処分	計
産業廃棄物	21	45	0	66
特別管理産業廃棄物	2	5	0	7

注) 平成23年4月1日施行の法改正のため、収集運搬は積替保管を含むものに限る。

資料V-11 再生利用業個別指定事業者数

(単位：事業者)

(平成28年3月31日)

再生輸送	再生活用	計
0	0	0

資料V-12 自動車リサイクル法関係の登録及び許可状況

(単位：件)

(平成28年3月31日)

区分		件数
登録	破碎業	9
	解体業	32
許可	引取業者	161
	フロン類回収業者	56

資料V-13 循環型社会形成推進条例にかかる保管届出件数

(単位：件)

	条例による保管届出数	条例による事業計画書提出数
平成26年度	51	3

3) 産業廃棄物の検査状況

資料V-14 事業所等より排出される産業廃棄物の検査状況

事業所等より排出される産業廃棄物の検査状況

(平成27年度)

廃棄物の種類	汚泥	ばいじん	燃え殻	廃油	廃酸	鉱さい	土壌	13号 廃棄物	計
検体数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
分									
総水銀(T-Hg)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アルキル水銀(R-Hg)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
カドミウム(Cd)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉛(Pb)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有機燐化合物	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六価クロム(Cr6+)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
砒素(As)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
シアン(CN)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
P C B	0	0	0	0	0	0	0	0	0
セレン(Se)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
析									
トリクロロフルン	0	0	0	0	0	0	0	0	0
テトラクロロフルン	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ジクロロメタン	0	0	0	0	0	0	0	0	0
四塩化炭素	0	0	0	0	0	0	0	0	0
項									
1,2-ジクロロエタン	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1,1,1-トリクロロエタン	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1,1,2-トリクロロエタン	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1,1-ジクロロフルン	0	0	0	0	0	0	0	0	0
目									
シス-1,2-ジクロロフルン	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1,3-ジクロロプロパン	0	0	0	0	0	0	0	0	0
チウラム	0	0	0	0	0	0	0	0	0
シマジン	0	0	0	0	0	0	0	0	0
チオベンカルブ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ベンゼン	0	0	0	0	0	0	0	0	0
熱灼減量	0	0	0	0	0	0	0	0	0

資料V-15 処分地の採水状況

(平成27年度)

種 類	処分地数	採水件数
自社処分地	-	-
許可処分地	1	1
その他処分地	-	-
計	1	1

注) その他処分地とは産業廃棄物以外の処分地等をいう。

4) 埋立処分場の状況

資料V-16 堺第7-3区埋立処分事業の概要

項目	内容
規模	面積 280万㎡ (第1次処分地 84万㎡、第2次処分地 196万㎡) 容量 3,117万m ³ (うち公有水面埋立終了後の容量 586万m ³)
受入対象者	大阪府下全域の公共・民間業者
受入対象物	土砂 (平成17年2月に搬入終了)
受入量	受入車両台数 500台/日以内

- 注) 1. 第1次処分地：平成16年3月31日に廃止。平成17年6月30日に廃棄物処理法に基づき指定区域に指定
2. 第2次処分地：平成16年3月15日以降産業廃棄物は搬入されておらず、覆土用の土砂のみの搬入についても平成17年2月に終了

資料V-17 大阪湾広域臨海環境整備センター堺基地の事業概要

項目	内容
主な設備	受入ブース 積み込み栈橋 (管理型用及び安定型用) ストックヤード (管理型用及び安定型用)
受入地域	資料V-18 大阪湾広域臨海環境整備センター堺基地受入区域 参照
受入廃棄物	1. 一般廃棄物 2. 産業廃棄物 1) 上水汚泥 2) 下水汚泥 3) 燃え殻 4) 汚泥[1)、2)を除く] 5) 鋳さい 6) ばいじん 7) 廃プラ類、ゴムくず 8) 金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず 9) がれき類 10) その他の産業廃棄物 3. 陸上残土
受入量	受入台数 900台/日以内

大阪湾広域臨海環境整備センターとは

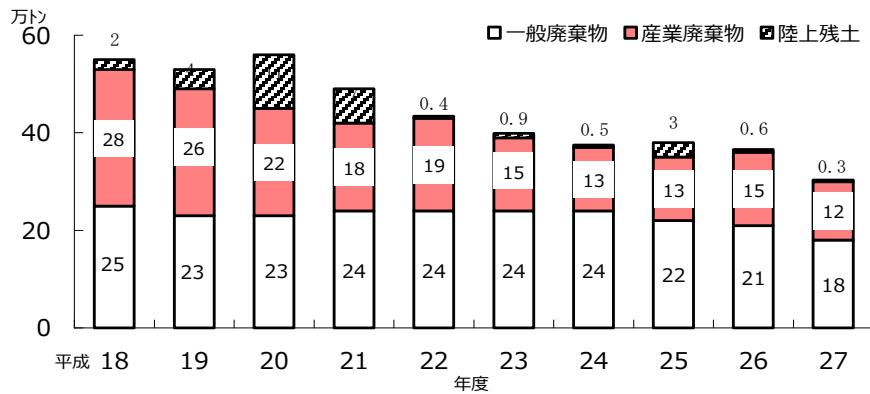
大阪湾広域臨海環境整備センターは、昭和57年に大阪湾の4港の港湾管理者、近畿6府県の京都府、大阪府、滋賀県、兵庫県、奈良県、和歌山県と159市町村が共同出資し、行政範囲を越えて長期的・安定的、広域的に、廃棄物を適正に処理するための組織として設立された。

現在は近畿2府4県168市町村を対象として廃棄物の処理を行っている。

大阪湾周辺には9か所の積出基地があり、堺基地は京都府、大阪府、奈良県の78市町村からの廃棄物を受け入れ、船への積み替えを行い大阪沖処分場へ搬出している。

廃棄物の受け入れに当たっては、受け入れる廃棄物の審査、受入時のチェック、積み出し基地や処分場周辺の環境監視など、環境保全の面でのチェック体制が敷かれている。

資料V-18 大阪湾広域臨海環境整備センター堺基地の搬入実績の推移



注) 平成 14 年度から、暫定的に一般廃棄物及び管理型産業廃棄物を堺基地で受入れ、陸上残土及び安定型産業廃棄物を泉大津基地へ直接搬入している。

資料V-19 大阪湾広域臨海環境整備センター堺基地の種類別搬入実績

(単位: トン、%)

(平成 27 年度)

廃棄物の種類	受入量	構成
1. 一般廃棄物	201,186	59.5%
2. 産業廃棄物	132,709	39.2%
1) 上水汚泥	12,762	3.8%
2) 下水汚泥	18,315	5.4%
3) 燃え殻	15,150	4.5%
4) 汚泥[1)、2)を除く]	65,433	19.3%
5) 鉱さい	10,111	3.0%
6) ばいじん	6,307	1.9%
7) 廃プラ類、ゴムくず	0	0.0%
8) 金属くず、ガラスくず	0	0.0%
9) がれき類	0	0.0%
10) その他の産業廃棄物	4,631	1.4%
3. 陸上残土	4,275	1.3%
合計	338,170	100.0%

注) 四捨五入の関係で内訳と合計とが一致しないことがある。

資料V-20 大阪湾広域臨海環境整備センター堺基地受入区域

府県名	市 町 村 名
京都府	宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、木津川市、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村
大阪府	堺市、岸和田市、泉大津市、貝塚市、守口市、枚方市、八尾市、泉佐野市、富田林市、寝屋川市、河内長野市、松原市、大東市、和泉市、柏原市、羽曳野市、門真市、高石市、藤井寺市、東大阪市、泉南市、四条畷市、交野市、大阪狭山市、阪南市、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町、太子町、河南町、千早赤阪村
奈良県	奈良市、大和高田市、大和郡山市、天理市、橿原市、桜井市、五條市、御所市、生駒市、香芝市、葛城市、宇陀市、平郡町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、高取町、明日香村、上牧町、王寺町、広陵町、河合町、吉野町、大淀町、下市町、曽爾村、御杖村、黒滝村、天川村、川上村、東吉野村